

I 第29週の発生動向 (2014/7/14~7/20)

1. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第26週より**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の44人から105人に増加しました。
3. 無菌性髄膜炎については、五所川原保健所管内で第18週より局所的な発生が継続しています。

II 第29週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上 十 三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
(90) インフルエンザ															0					
(79) RSウイルス感染症	2	0.3	4	0.4	1	0.1					1	0.2			8	0.2	8		2	0.3
(80) 咽頭結膜熱	4	0.5			1	0.1					4	0.7	1	0.3	10	0.2	3		4	0.5
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.1	3	0.3	36	3.6	1	0.2			3	0.5	5	1.3	49	1.2	-20		1	0.1
(82) 感染性胃腸炎	17	2.1	10	1.1	9	0.9	1	0.2			4	0.7	10	2.5	51	1.2	-42		17	2.1
(83) 水痘	3	0.4	3	0.3	1	0.1	2	0.4			1	0.2	7	1.8	17	0.4	-14		3	0.4
(84) 手足口病	2	0.3	5	0.6	4	0.4					1	0.2			12	0.3	0		2	0.3
(85) 伝染性紅斑	6	0.8	7	0.8	15	1.5					4	0.7	2	0.5	34	0.8	-16		6	0.8
(86) 突発性発しん	2	0.3	4	0.4	3	0.3	1	0.2			5	0.8	2	0.5	17	0.4	-6		2	0.3
(87) 百日咳																	-1			
(88) ヘルパンギーナ	5	0.6	45	5.0	27	2.7	5	1.0			23	3.8			105	2.5	61		5	0.6
(89) 流行性耳下腺炎			1	0.1	2	0.2							1	0.3	4	0.1	-6			
(91) 急性出血性結膜炎																	0			
(92) 流行性角結膜炎	4	2.0					1	0.5							5	0.5	-7		4	2.0
(97) クラミジア肺炎																	0			
(98) 細菌性髄膜炎																	-1			
(100) マイコプラズマ肺炎													4	4.0	4	0.7	2			
(101) 無菌性髄膜炎															4	0.7	-3			
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)									4	4.0					4	0.7	-3			
											2	2.0			2	0.3	0			

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市1人、弘前1人、八戸2人、五所川原1人、むつ1人(2014年計:177人)
- (18) E型肝炎(四類全数把握疾患):弘前1人(2014年計:2人)
- (20) A型肝炎(四類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2014年計:2人)
- (65) クロイツフェルト・ヤコブ病(五類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2014年計:1人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、6/23~7/8)・・・パラインフルエンザウイルス(PIV)3型:弘前(2)、ヒトメタニューモウイルス:弘前(1)、ライノウイルス(HRV):弘前(2)
- ・無菌性髄膜炎患者(ふん便、髄液、7/1~7/5)・・・パレコウイルス3型:青森市(2)、HRV及びパレコウイルス3型:青森市(1)
- ・不明熱患者(鼻汁、直腸ぬぐい液、6/25~7/7)・・・パレコウイルス3型:弘前(1)、HRV及びPIV3型:弘前(1)、ヒトボカウイルス:弘前(1)

感染症の窓

海外で注意すべき感染症

夏休み期間中は海外へ渡航される方も多い時期です。海外で感染症にかからないためにも正しい知識と予防方法を身につけましょう。予防接種が受けられる感染症については事前に接種を検討し、また、帰国後、体調に不安のある場合は早急に医療機関を受診しましょう。【参考】厚生労働省ホームページ『夏休み期間中における海外での感染症予防について』

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel/2014summer.html

蚊やマダニなどが媒介する感染症

- ・熱帯・亜熱帯地域ではマラリア、デング熱、チクングニア熱などに注意が必要です。
- ・蚊に刺されたり、マダニに咬まれないよう、野外活動の際には、長袖・長ズボンを着用する、素足でのサンダル履き等は避ける、虫除け剤を使用するなどの注意をしましょう。

動物からうつる感染症

- ・東南アジアを中心に、中東・ヨーロッパ・アフリカの一部地域などで鳥インフルエンザが、アジア、アフリカなどで狂犬病が、アフリカでエボラ出血熱が流行しています。
- ・野生動物や家畜はどのような病原体を持っているかわからないことが多く、重篤な感染症の病原体を持っている可能性もあります。海外では、むやみに動物に触れることはやめましょう。

諸外国での感染に注意すべき感染症

- ・麻しん(はしか)やポリオは、諸外国では未だに流行しており、アフリカや中東では流行国からの輸入例が報告されています。
- ・中東呼吸器症候群(MERS)はアラビア半島を主とした中東地域で流行しています。

そのほか注意すべき感染症

- ・公衆衛生の整備が不十分な地域では、水や食べ物から感染する消化器系の感染症(A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど)や生鮮魚介類や生肉等を介した寄生虫疾患に注意が必要です。
- ・こまめに手洗いをする、生水は飲まない、氷を避ける、完全に火の通った食べ物を食べる、などの対策をこころがけましょう。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第13週～第29週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
13	H26.3.24 ~ H26.3.30						
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵袭性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵袭性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵袭性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵袭性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第19週～第29週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
19	H26.5.5 ~ H26.5.11	1					
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		4	1	1	
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	2	1		1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第27週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリス症	マラリア	ライム病	
累積報告数	12667	2	51	1024	21	8	74	370	6	6	1	1	1	27	6	100	85	65	6	1	29	2	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	副症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノコミン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	537	7	553	138	252	73	83	138	763	33	104	20	1104	8	779	58	29	233	410				

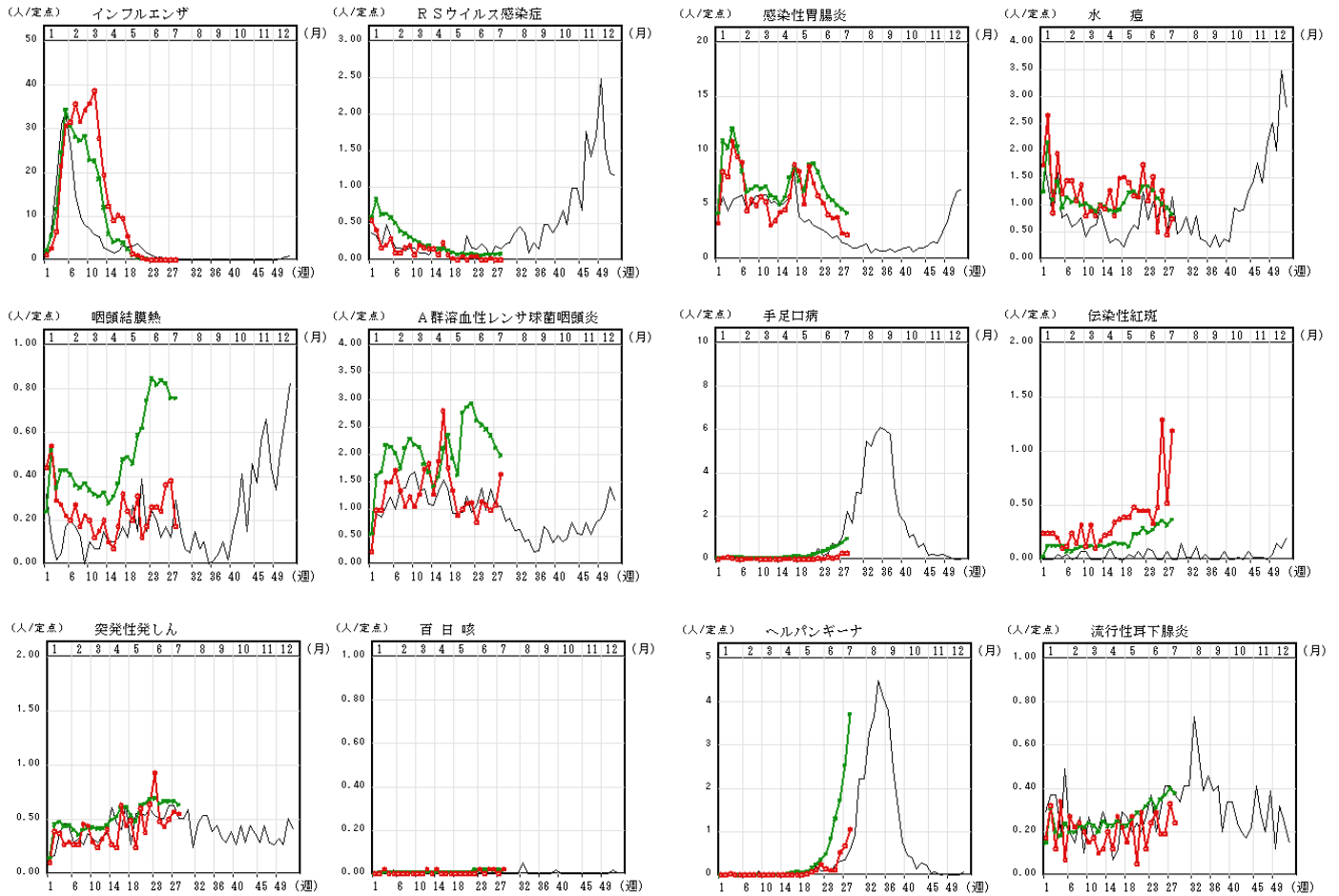
青森県

(2014年第1週～7月22日16:30累計)

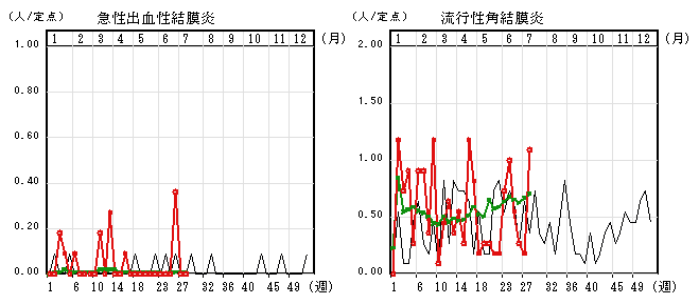
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	副症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風		
累積報告数	177	2	2	2	10	2	6	8	1	1	2	1	6	3	1		

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第28週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第28週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第28週)

